大船渡土木センター 震災復旧・復興情報　かわら版

Vol. 3

平成２５年２月１８日発行　大船渡土木センター
◇HP：http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?ik=3&nd=1395

１．道路関係事業の取組状況

○ まちづくり連携道路等の道路計画説明会を開催しました。

❑ 気仙両市の復興まちづくりと一体となった道路整備として、平成24年8月から平成25年1月にかけて、下記の路線工区の道路計画説明会を開催しました。事業概要（案）等は、下記のとおりです。

《　大船渡市　》

	路線名	工区名	事業概要（案）※1				現在の状況
			計画延長	幅員（全幅）	事業費	事業期間	
1	主要地方道 大船渡広田陸前高田線	船 河 原	約2,200m	10.0m	約21億円	H24 ～ H30	測量調査、詳細設計を実施中
2	主要地方道 大船渡綾里三陸線	赤 崎	約4,000m	10.5m	約40億円	H24 ～ H30	測量調査、詳細設計実施に向けて準備中
3	〃	越 喜 来	約1,000m	10.0m	約 6億円	H24 ～ H27	測量調査、詳細設計を実施中
4	一般県道 崎浜港線	越 喜 来	約700m	10.0m	約 4億円	H24 ～ H27	測量調査、詳細設計を実施中
5	一般県道 碁石海岸線	末 崎 ～ 碁 石	約2,300m	10.0m	約24億円	H24 ～ H30	測量調査、詳細設計を実施中

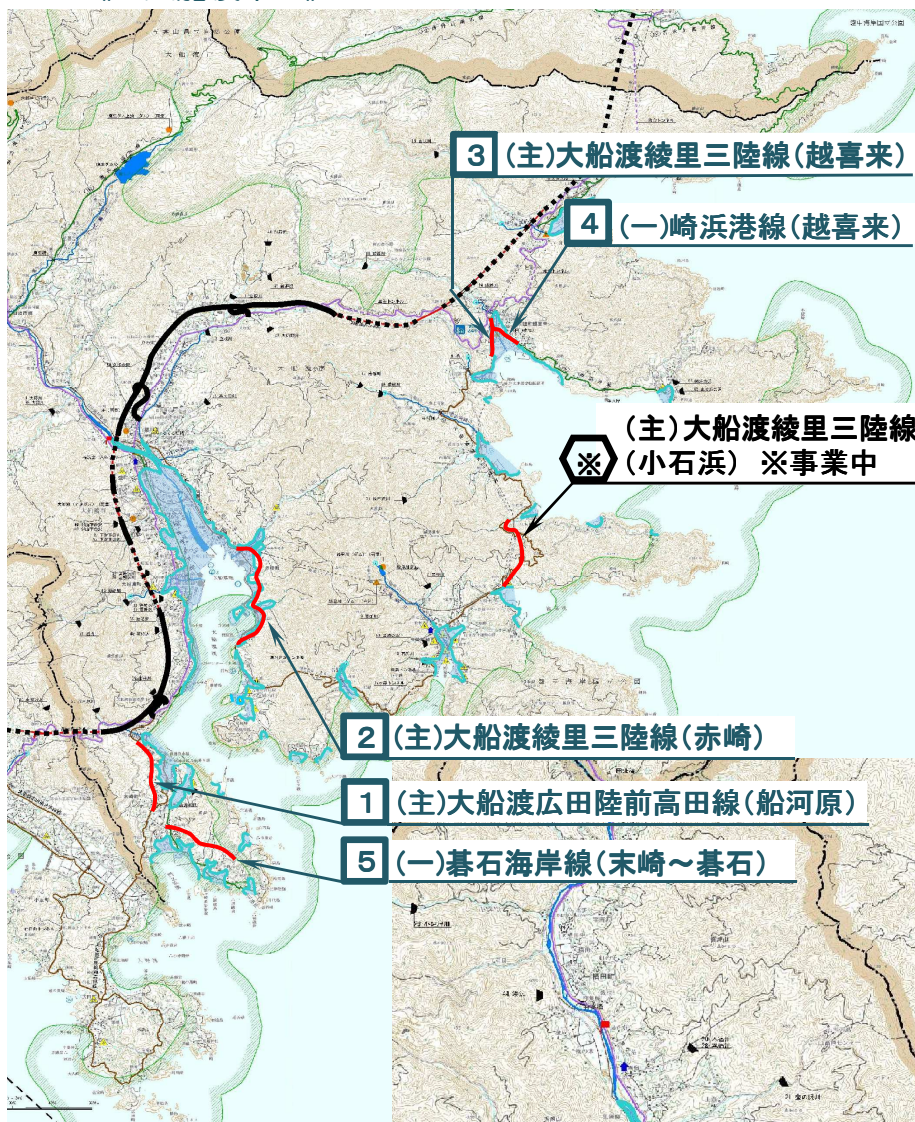
《　陸前高田市　》

	路線名	工区名	事業概要（案）※1				現在の状況
			計画延長	幅員（全幅）	事業費	事業期間	
1	一般国道 ３４０号	（仮）今泉 大橋 ※2	約2,300m	11.5m	約36億円	H24 ～ H30	測量調査、詳細設計を実施中
2	〃	竹 駒	約1,600m	10.5m	約 5億円	H24 ～ H27	測量調査、詳細設計を実施中
3	主要地方道 大船渡広田陸前高田線	小 友	約1,200m	10.0m	約25億円	H24 ～ H30	測量調査、詳細設計を実施中
4	〃	大 陽	約1,400m	10.0m	約 9億円	H24 ～ H29	測量調査、詳細設計を実施中
5	〃	花 貝	約1,100m	10.0m	約12億円	H24 ～ H28	測量調査、詳細設計を実施中
6	〃	久保～泊	約2,400m	10.0m	約30億円	H24 ～ H27	測量調査、詳細設計を実施中
7	〃	広 田	約1,400m	10.0m	約 7億円	H24 ～ H27	測量調査、詳細設計を実施中
8	一般県道 長部漁港線	長 部	約600m	7.5m	約2.5億円	H24 ～ H26	測量調査、詳細設計を実施中

※1：この内容は現時点での計画であり、今後の調査の結果によっては変わる可能性があります。
※2：一般国道340号（仮）今泉大橋工区は、都市計画道路にかかる説明会を実施しております。

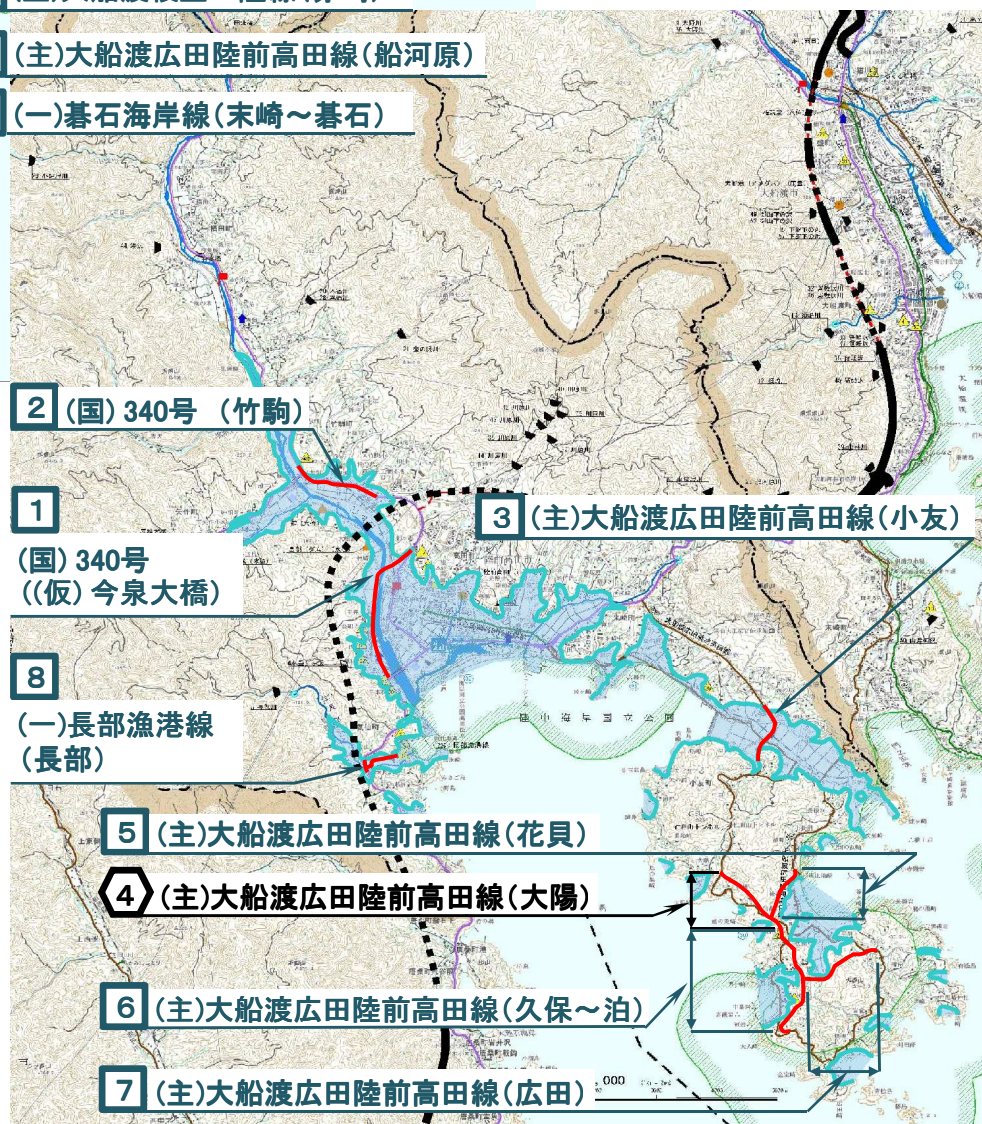
○ まちづくり連携道路等　位置図

《　大船渡市　》

3 (主)大船渡綾里三陸線(越喜来)
4 (一)崎浜港線(越喜来)
(主)大船渡綾里三陸線(小石浜) ※事業中
2 (主)大船渡綾里三陸線(赤崎)
1 (主)大船渡広田陸前高田線(船河原)
5 (一)碁石海岸線(末崎～碁石)

凡　例	
(青色の区域)	3.11　浸水区域
(四角)	まちづくり連携道路
(六角形)	復興道路等

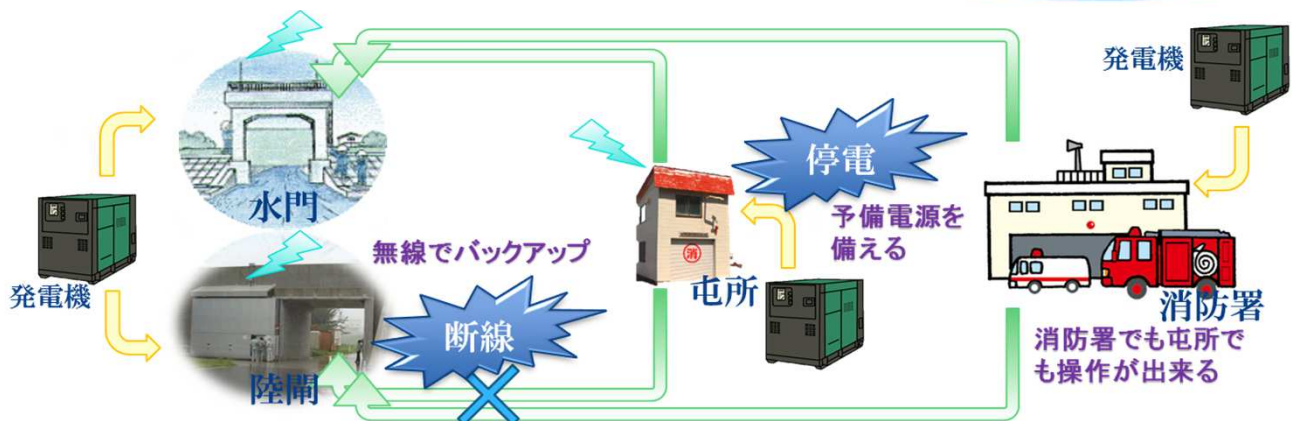
(国)：一般国道
(主)：主要地方道
(一)：一般県道

《　陸前高田市　》

2 (国) 340号 (竹駒)
1 (国) 340号 ((仮) 今泉大橋)
3 (主)大船渡広田陸前高田線(小友)
8 (一)長部漁港線 (長部)
5 (主)大船渡広田陸前高田線(花貝)
4 (主)大船渡広田陸前高田線(大陽)
6 (主)大船渡広田陸前高田線(久保～泊)
7 (主)大船渡広田陸前高田線(広田)

2．河川・海岸・港湾関係事業の取組状況

○　水門・陸閘を遠隔操作システムにより、安全な場所から操作します。

- 遠隔操作システムは、地震発生から**水門･陸閘閉鎖完了までの流れの様々な面**において、**多重化**を図ることを基本とします。
- **平成24年度** に **基本設計を実施** し、**平成25年度** には **詳細設計を実施予定** です。その後、順次、各水門･陸閘の整備に合わせ、遠隔操作システムについても整備予定です。

遠隔操作･多重化のイメージ

① 操作方法の多重化

消防本部・消防署・分署及び屯所からの遠隔操作を基本とし、機側操作（水門・陸閘側での操作）での手動操作も含めた**操作方法の多重化**を図る。

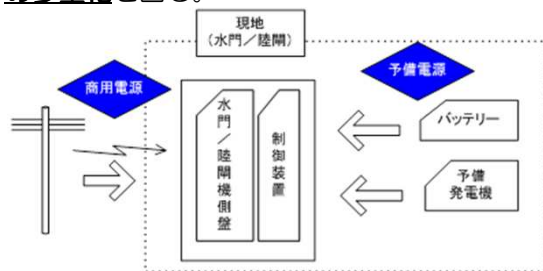
② 機器の多重化

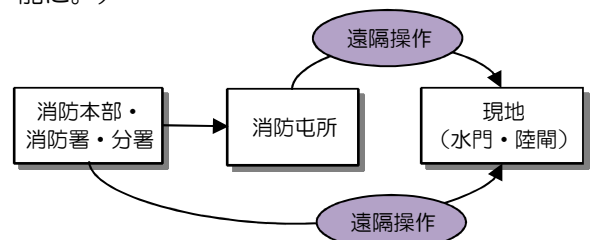
各場所（現地、屯所、消防本部等）の主要な機器は、**バックアップ機器**による**二重構成**とする。

③ 通信回線の多重化

回線（有線・無線等）を**複数回線で構成し、回線経路も多重化**する。

④ 電源の多重化

商用電源のバックアップのため、**予備電源（バッテリー、予備発電機）による電源設備の多重化**を図る。

⑤ 操作権限の多重化

管理を行う消防組織の形態により、**操作権限の多重化を図る。**（複数の箇所から、操作可能に。）

❑❑かわら版に関する問合せ先❑❑

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター復興まちづくり課（分庁舎）
TEL：(本庁舎) 0192-27-9919、(分庁舎) 0192-26-1951　◇E-mail：BG0005@pref.iwate.jp